

「持続可能な開発目標（SDGs）に対する本市の基本的な考え方（案）」 に関する意見募集手続の実施結果について

1 概要

「持続可能な開発目標（SDGs）に対する本市の基本的な考え方」は、平成27年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」について、本市の今後の推進に向けた取組の考え方を定めたものです。

同考え方の策定に当たり、市民の皆様からご意見を募集したところ、4名の方から20件のご意見をいただきました。

この度、いただいたご意見の内容、及びそれに対する市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成31年3月12日（火）～平成31年4月10日（水）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、企画政策課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、広報さがみはら

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		4人（20）件
内 訳	直接持参	0人（0）件
	郵送	0人（0）件
	ファクス	0人（0）件
	電子メール	4人（20）件

（2）意見に対する本市の考え方の区分

- ア：計画案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他

SDGs（エス・ディー・ジーズ）：Sustainable Development Goals

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
	考え方(案)全体に関する こと	8	1	3	3	1
	取組方策に関する こと	6	0	3	3	0
	普及啓発に関する こと	1	0	1	0	0
	文章・構成に関する こと	4	4	0	0	0
	その他	1	0	1	0	0
合計		20	5	8	6	1

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
考え方(案)全体に関すること			
1	<p>SDGsの17項目に関して、相模原市として特に力点を置いて取り組むべきもの、中でも特に必要性が高く達成を急ぐべきものは、どれなのか？</p> <p>メリハリをつけないと、総花的な取り組みになります。</p>	<p>SDGsのそれぞれのゴールについては、どれも欠くことのできない重要なものであり、本市が進める持続可能なまちづくりについては、SDGsの全てのゴールの達成に寄与するものであると考えております。</p> <p>各ゴールに対する達成への寄与の度合いについては、その時々々の社会情勢などに応じて重点的に進める施策等により異なるものと考えられますが、現時点では、SDGsの達成を目指した総合的な取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ
2	<p>SDGsの17項目のうち、相模原市にとって現在、特に問題を抱え、または達成に困難をとまなうと言ふべき課題は何か？その課題への取り組みの姿勢はどうか。</p>	<p>SDGsは、本市がめざす都市像及びそれを実現するための政策の基本方向と重なるものが多いと考えています。</p> <p>例えば、人口減少社会の到来や少子高齢化の進行、全国各地で自然災害が相次いで発生している状況を踏まえると、「11 住み続けられるまちづくり」に向けた取組は喫緊の課題のひとつと考えられます。また、将来を担う子ども達が健やかに成長できる環境を整えるためには、「1 貧困をなくそう」や「4 質の高い教育をみんなに」の達成に向けた取組は重要なものと捉えております。他にも、高齢者や障害者福祉、人権、環境保全など、多くの課題を抱えていることから、全ての人が将来にわたって安全で住みやすいまちをめざし、総合的な取組を進めてまいります。</p>	エ
3	<p>現行の市政における施策・政策についてのSDGs的な視点からの見直しが必要ではないか。これを加えるべきだと考えます。例えば、質の高い教育に関連して、社会教育の意義づけ、意味づけなどの制度、施策の現状でいいのかや、住みよいまちづくり・陸のゆたかさを守るなどに関して、現状の大規模都市開発・土木建設型の姿勢でいいのかなど、SDGsにそぐわない可能性のあるものもあるように思われます。</p>	<p>現在取り組んでいる、総合計画の策定や施策等の立案に当たっては、SDGsの理念や目標を踏まえながら、持続可能な社会の実現に寄与するものとなるよう検討を行うことが重要であると考えております。</p> <p>そうした検討を行いながら、必要に応じて、計画や施策等の見直しにも取り組んでまいりたいと考えております。</p>	イ

4	<p>168のターゲットの中で、相模原市として注目し取り組みたい項目はあるのか。あるとすれば、何で、どういう取り組みが考えられるのか。</p>	<p>SDGsの169のターゲットのうち、市として実施すべきものについては達成に向けて取り組んでまいりたいと考えており、それらのターゲットは、どれも重要なものであると考えております。</p> <p>各ターゲットに対する達成への寄与の度合いについては、その時々々の社会情勢などに応じて重点的に進める施策や事業等により異なるものと考えられますが、現時点では、SDGsの達成を目指した総合的な取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ
5	<p>(1) 取り組み期間について「(なお)SDGsが平成42(2030)年を目指した目標であることから…」を含む3行は、(1)の冒頭におくべきです。市の計画に先立ってアジェンダ2030があるからです。国連の目標にも拘らず、(それには触れず)総合計画から書き起こしたり、煩雑な元号の表記を用いるのは賛成できません。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、「2(1)取組期間」について、2030年をめざした国連の目標期間も含めて、記載内容をより分かりやすいものとなるよう検討します。</p>	ア
6	<p>基本方針だけではよくわかりませんが、SDGsの目標は多方面、多岐にわたっているので、優先順序をつけることが必要だと思います。そのための議論をしっかりと行なってください。</p>	<p>SDGsのそれぞれの目標については、どれも欠くことのできない重要なものであり、本市が進める持続可能なまちづくりについては、SDGsの全てのゴールの達成に寄与するものであると考えております。</p> <p>各ゴールに対する達成への寄与の度合いについては、その時々々の社会情勢などに応じて重点的に進める施策等により異なるものと考えられますが、現時点では、SDGsの達成を目指した総合的な取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	ウ

7	<p>・SDGsを行政計画のあらゆる部分に反映させる。 ・SDGsで総合計画と各種計画のつながりを可視化する。</p> <p>総合計画だけでなく、環境基本計画や区の総合ビジョン、地域福祉計画など、すべての行政計画に可能な限りSDGsを反映させる。</p> <p>反映させるだけでなく、SDGsを活用して、行政計画の相互関連性を可視化する。従来から行政計画は相互関連性があり、計画間の齟齬・矛盾は可能な限りないようにされていたに違いない。しかしSDGsが目指すゴールの構造（相互関連性を有している）やSDGsのアイコンを用いて、行政計画の間のつながりを市民や事業者で理解できるように可視化することが可能となる。</p> <p>各種行政計画で行政の事業のつながりが可視化できたら、部や課を横断した事業も構想する。</p>	<p>本市では、本年度、次期総合計画を策定する予定であり、計画の策定や施策等の立案に当たっては、SDGsとの関係性の整理し、それらの施策等の推進が、SDGsのどの目標の達成につながるのかを計画に示していく予定です。</p> <p>また、SDGsの推進につながる施策の立案や事務事業の実施に当たっては、着実に実施できるよう局区間の横断的な連携に努めることが重要であると考えています。</p>	イ
8	<p>・2030年に目指すビジョンを行政だけでなく、市民・事業者と共創し、さがみはらの地域アジェンダを設定する。</p> <p>SDGsはアジェンダ（行動計画・行動指針）の一部であるならば、相模原でも市の行政計画だけでなく、市民や事業者、地域コミュニティとビジョンを共創し、その共有したビジョンを実現するためのアジェンダを地域ごと、地区ごとに策定していただく。市はその策定の支援を行う。地域福祉計画などは、地域ごとのアジェンダへと変容させるには適切かもしれない。豊中市が、LA21（ローカル・アジェンダ21）を実践している事例は、参考になる。</p>	<p>SDGsの達成に向けた取組を推進していくためには、SDGsに取り組む地域の住民、企業、団体等、多様な主体との連携を図り、相乗効果を創出する効果的な取組となるよう努める必要があると考えています。</p> <p>本年度策定を予定している、次期総合計画や区ごとに策定する区別基本計画につきましても、市民の皆さまのご意見を伺いながら地域の特性を踏まえたものとなるよう策定を進めてまいります。</p>	イ

取組方策に関すること			
9	<p>・SDGsの自分事化</p> <p>SDGsは、「国連 国 市 市民・事業者という上意下達で実現するものである」という誤解がある。持続可能性を志向するのは、地域レベル・コミュニティレベルで市民や事業者が自発的に将来ビジョンを構想し、その実現に向けて主体的に行動することで実現する。市はそのような市民・事業者を連携と協働で支援することが役割となる。</p> <p>そのように市民・事業者が主体的にアジェンダの実現のために行動するには、市民・事業者がSDGsを自分事化し、他者と対話・交流することが重要である。</p> <p>SDGsの自分事化に関しては、研究・教育・実践の積み重ねがあるので、市の必要に応じて情報の提供も可能である。</p>	<p>SDGsの達成に向けた取組を推進していくためには、SDGsに取り組む市民、企業、団体、国、県等の他自治体など、多様な主体との横の連携を図りながら進めるとともに、普及啓発などを通して、市民や地域の団体、企業等への意識付けや、主体的な取組を促進していくことが重要であると考えております。</p>	イ
10	<p>・市内の多様な主体との連携・協働</p> <p>神奈川県が発行した「SDGsアクションブックかながわ」では、市内の事業者として日本フードエコロジーセンターや学生・市民団体としてあざおね社中が掲載されている。</p> <p>このような団体と連携・協働しながらSDGs推進のための情報交換・交流を進めるべきである。</p> <p>http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/actionbook.html</p>	<p>地域課題の解決に向けた取組や、地域が持つ特性や資源を生かしたまちづくりについて、地域住民のほか、関係する団体等、様々な主体と連携・情報共有を図りながら進めていくことが重要であると考えております。</p>	イ

11	<p>・SDGsの社会実装1</p> <p>相模原市緑区青根を拠点として麻布大学の学生が主体に活動しているあざおね社中は、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の「持続可能な開発目標（SDGs）への科学技術イノベーションの貢献」事例集にも掲載されている。 https://www.jst.go.jp/sdgs/practices/p081.html</p> <p>事例報告をした2017年の時点では、関連するゴールとして15、6、4を挙げた。現時点では、これらに加えて青根がある緑区と、都市部である中央区や南区との間の格差についてゴール10も、レジリエントなまちづくりについてゴール11も関連すると認識している。</p> <p>これらは緑区だけの問題ではなく、全市的に資源や人、モノ、情報の循環が不十分な結果であり、全市的な地域課題である。</p> <p>課題解決のためにあざおね社中は地元住民とともにアジェンダの策定・実装をしてゆくが、市としての支援手段を検討するべきである。</p>	<p>地域課題の解決に向けた取組や、地域が持つ特性や資源を生かしたまちづくりについて、地域住民のほか、関係する団体等、様々な主体と連携・情報共有を図りながら進めていくことが重要であると考えております。</p>	ウ
12	<p>・SDGsの社会実装2</p> <p>学生とともにSDGsレンズを開発した。活用方法については、3月10日の日本アクティブ・ラーニング学会で発表した。 https://researchmap.jp/?action=cv_download_main&upload_id=247688</p> <p>SDGsレンズを活用し、相模原の多様な課題を直視するべきである。</p>	<p>本市における様々な課題や要因、それらの関連性等をSDGsの視点から確認し、社会・経済・環境の3側面から課題の解決や相乗効果が期待できる取組を検討していくことが重要であると考えております。</p>	ウ
13	<p>・他の自治体や県、国との連携</p> <p>相模原市だけで解決できない地域課題は、他の自治体や神奈川県、国、必要があれば国際機関やNGO・NPOと連携・協働することをいとわないで取り組み、市が設定するSDGsの達成を目指してゆくべきである。</p>	<p>SDGsの達成につながる施策や事務事業を推進するためには、SDGsに取り組む市民、企業、団体、国、県等の他自治体など、多様な主体との連携を図り、相乗効果を創出する効果的な取組となるよう努める必要があると考えています。</p>	イ

14	<p>市民等に対する普及啓発に当たり、相模原市以外でも活動する全国組織の支援をお願いする。(教育・啓発)</p> <p>1) 日本経営士会 南関東支部 SDGs研究会</p> <p>2) 電気学会 産業応用部門 「電機・電子製品の環境影響評価手法の国際標準化調査専門委員会」</p> <p>3) 日本LCA(Life Cycle Assessment)学会 環境負荷削減貢献量評価手法研究会</p> <p>これらの団体はSDGsでいえば、「目標13 気候変動に具体的対策を」に直結している。</p> <p>これらの団体の支援を得て相模原市が「SDGs未来都市」に認定されるようサポートしていきたい。</p>	<p>市民等へのSDGsの普及啓発に当たっては、必要に応じて市内外の団体等と連携し、より効果的かつ相乗効果を生み出せる取組となるよう、努めてまいりたいと考えております。</p>	ウ
普及啓発に関すること			
15	<p>・SDGsは2030アジェンダの一部に過ぎないことを認識する。</p> <p>SDGsは「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の一部であることを、相模原市役所の職員および市民・事業者・各種団体で認識するためには、数多くの勉強会を行う。</p> <p>具体的には、公民館や小中学校・高等学校での勉強会を行う。勉強会のための知的資源や教材、ワークショップのノウハウは市内の大学に提供してもらう。</p>	<p>SDGsに関する正確な知識や理解が深められるよう、本市職員の理解浸透を図るほか、市民、企業、各種団体等とも連携しながら、広報やイベント等の様々な機会を通じて、積極的に市民等への普及啓発に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	イ

文章・構成に関すること			
16	<p>失礼ですが、市はやる気があるのかと思ってしまいます。文書の書き方がまずいだけなのか、それとも本当にやる気がないのでしょうか。</p> <p>国の動向、閣議決定、実施方針がどうか、長々しい説明があり、3,4ページでは肝心の相模原市がSDGsをどう評価したかが見えてきません。市の姿勢をはっきりと書いてください。</p> <p>拙案ですが、4ページ ウ 地方創生とSDGsでは(参考)資料を本文より前に出した場合、</p> <p>ウ 地方創生とSDGs 平成30(2018)年6月に閣議決定された・・・の要素を最大限反映する」とされている。(6行分)</p> <p>相模原市は、SDGsの取り組みを進めることにより、諸課題の解決をはかり、自治体としての持続的な開発、すなわち「市民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会を形成すること」を目標とし、地方創生を実現する。そのための基本方針(案)をつぎのように策定する。</p>	<p>本市では、SDGsを推進することにより、市民が将来にわたって安全で安心して豊かに暮らすことができる地域社会の形成と、持続的に発展し続ける都市づくりに取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえて、「SDGsに対する基本的な考え方」の記載内容を検討いたします。</p> <p>なお、今回策定するものは、前半の「持続可能な開発目標(SDGs)に対する本市の基本的な考え方」であり、3ページ以降の「(参考)持続可能な開発目標(SDGs)の背景と国の動向」は、国の動向等をまとめた参考資料として位置付けています。</p>	ア
17	<p>イ実施指針の策定は、主語なし、受動態の文で、わかりにくいです。主体性に欠け、「他人事」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文頭を「相模原市は」とする。 ・6行目 「12月に策定した」とする。 ・「ステークホルダー」は適切だとは思えません。「(主な)利害関係者」(Wikipedia)ぐらいでどうですか。 	<p>「(参考)持続可能な開発目標(SDGs)の背景と国の動向」については、国のこれまでの動向をまとめた参考資料です。主語が分かりやすいよう記載内容を検討します。</p> <p>また、「ステークホルダー」については、国の実施指針における表現を用いたものですが、分かりやすい記載内容を検討します。</p>	ア
18	<p>「本市の基本的な考え方」を冒頭に出されても、SDGsそのものがわからなければ、読み進めることができません。</p> <p>例1 解決のため、「はじめに」という部分を設けて3,4ページを前に出し、その後に(案)を持ってくる。</p> <p>例2 意見募集の1ページ、(案)の1ページではSDGsは初出なので、Sustainable development Goalsと()内に綴ってほしい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、より分かりやすいものとなるよう、冒頭の「持続可能な開発目標(SDGs)に対する本市の基本的な考え方」と、3ページ目以降の「(参考)持続可能な開発目標(SDGs)の背景と国の動向」の記載内容を検討します。</p> <p>また、文中で初めてSDGsと表記する箇所につきましては、「(Sustainable Development Goals)」を併記します。</p>	ア

19	<p>図と文字が（つぶれていて）ほとんど見えません。 解決策 17のゴールについて、 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を ・ ・ ・ 17. パートナースhipで目標を達成しよう と別枠に書いてください。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、17のゴールの記載について、アイコン内の文字が読みやすいよう表示を修正します。 今後、市ホームページ等に掲載する際にも、読みやすいものとなるよう留意してまいります。</p>	ア
その他			
20	<p>国の政策を変えなければ、自治体の努力では達成が難しい項目はないか。あれば、しっかりと指摘して、改革を求めるべきなのではないか。</p>	<p>SDGsを推進するためには、国、他自治体、企業、市民、団体等と連携して取り組むことが重要であると考えており、こうした様々な主体との連携に努めるとともに、国の制度等に課題があると考えられるものについては、様々な機会を捉えて改善に向けた要望を行ってまいりたいと考えています。</p>	イ